

リグロストーク ～基礎から臨床まで語り合う～

オンラインセミナー

日程

2024 9/13(金) 19:30～21:00



参加費

無料 (Doctorbook会員限定)

<https://academy.doctorbook.jp>

受講方法

裏面をご覧ください

ドクターブックアカデミー

検索



プログラム

その骨欠損、何とかしたくないですか？
～失敗しないリグロス®使用のヒント～



座長

村上 伸也 先生 大阪大学大学院歯学研究科 名誉教授

ご略歴

1988年 大阪大学大学院 歯学研究科 修了
米国国立衛生研究所(NIH) 研究員(visiting fellow)
1990年 大阪大学・助手 歯学部
1992年 大阪大学・講師 歯学部附属病院
2000年 大阪大学・助教授 大学院歯学研究科
2002年 大阪大学・教授 大学院歯学研究科
2024年 大阪大学・名誉教授 大学院歯学研究科



演者

池上 龍朗 先生 富山歯科クリニック 院長

ご略歴

2000年 九州大学 歯学部 卒業
九州大学歯学部附属病院 第二補綴科 研修医勤務
2002年 九州大学大学院(歯学研究院 口腔機能修復学講座) 入学
2006年 同大学院 卒業
福岡県福津市 水上歯科クリニック 勤務
2010年 福岡県北九州市 富山歯科クリニック 開業
2023年 医療法人池上医院に名称変更

セミナー視聴に際しての手順とお願い

会員登録いただかないと、今回のリグロスWEBセミナーにはご参加いただけませんのでご了承ください。



Doctorbook academy (ドクターブックアカデミー)

右のQRコードを読み取るか、検索サイトで「ドクターブックアカデミー」と検索していただきサイトへのご登録をお願いいたします。



セミナーお申込方法

ドクターブックアカデミーのサイトにて申込をお願いいたします。

会員サイト内検索

TOPページ > LIVE > キーワード「リグロス」

視聴方法

QRコードと紐づいているURLでご視聴が可能です。
また、セミナーにお申込みいただいたEメールアドレスへ、セミナーの前日及び当日に視聴URLを記載したリマインドメールを致します。事前にドクターブックアカデミーの他の動画を再生いただき、正常に再生されるかご確認ください。
もし再生に問題がある場合は下記の連絡先まで問い合わせをお願いいたします。

講師への質問

ライブセミナー中は視聴用ページ下部のフォームより講師への質問が可能です。
ぜひご利用ください。

お支払い方法

今回のセミナーは無料参加となりますので、決済・振込は不要です。

Doctorbook academy

セミナーに関するお問い合わせは下記までお願いいたします。
info@doctorbook.jp セミナー担当

Drug Information

●詳細は電子化された添付文書をご参照ください。電子化された添付文書の改訂に十分ご注意ください。

2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)

- 2.1 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- 2.2 口腔内に悪性腫瘍のある患者又はその既往歴のある患者
[本剤が細胞増殖促進作用を有するため]

4. 効能又は効果

歯周炎による歯槽骨の欠損

5. 効能又は効果に関連する注意

- 5.1 本剤は、歯周ポケットの深さが4mm以上、骨欠損の深さが3mm以上の垂直性骨欠損がある場合に使用すること。
- 5.2 本剤は、インプラント治療に関する有効性及び安全性は確立していない。
- 5.3 術後に歯肉弁の著しい陥凹を生じると予想される骨欠損部位に対しては、他の適切な治療法を考慮すること。

6. 用法及び用量

歯肉剥離強硬手術時に歯槽骨欠損部を満たす量を塗布する。

7. 用法及び用量に関連する注意

本剤の使用にあたっては「17.臨床成績」の項を参照し適切な量を用いること。[17.1.2 参照]

8. 重要な基本的注意

本剤は歯周外科手術の経験のある歯科医師又は医師が使用すること。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9.5 妊婦

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

9.7 小児等

小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.2 その他の副作用

	1%以上	1%未満	頻度不明
* 適用部位および適用部位近傍			歯肉白色化、歯肉紅斑、腫脹、硬結、肥厚
精神神経系			頭痛
臨床検査	尿中アルブミン陽性、尿中NAG上昇、尿中β ₂ ミクログロブリン上昇	AST上昇、CRP上昇、ビリルビン上昇、CK上昇、ALT上昇、LDH上昇、尿酸陽性、リンパ球増多、好中球減少、総蛋白上昇	単球増多、白血球減少

21. 承認条件

医薬品リスク管理計画を策定の上、適切に実施すること。

*2024年1月改訂(第2版)



歯周組織再生剤

トラフェルミン(遺伝子組換え)製剤

リグロス[®] 歯科用液キット 600 μ g/1200 μ g

REGROTH[®] Dental Kit 600 μ g/1200 μ g

処方箋医薬品(注意-医師等の処方箋により使用すること)

薬価基準収載

製造販売元
(文献請求先及び
問い合わせ先)



科研製薬株式会社

東京都文京区本駒込二丁目28番8号

医薬品情報サービス室